

総合的な学習の時間 学習指導案

単元名「みんなでアクション！□□沼クリーンプロジェクト（案）」

〔探究課題：□□沼の自然環境と地域の人々の生活との関わり〕

令和○年○月○日（○） 第○校時 ○○○○教室
○○立○○小学校 4年○組 ○名 指導者 ○○ ○○

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

単元の目標	□□沼の自然環境に関わったり、環境保全に向けた取組を行ったりすることを通して、□□沼の自然環境と地域の人々の生活との関わりや、それを後世に残す活動を続ける人々の思いや願いを理解し、持続可能な視点から環境保全の在り方について考えとともに、自分たちにできることを見付けて行動することができるようにする。		
児童の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	社会科の学習を通して、□□沼の水が、約二百年以上前から現在まで農業用水として地域の人々に利用されてきたことを理解している。	持続可能な視点から、自然環境を保全していくための方法について考えている児童は半数程度いる。	自然環境と自分たちの生活とのつながりに着目し、自分たちにできることを考えようとしている児童が多い。

2 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①□□沼の自然環境と地域の人々の生活との関わりを理解するとともに、それを後世に残していこうと活動をしている人々や組織の存在、思いや願いに気付いている。 ②□□沼の環境問題に関わる調査活動を、実地調査やインタビューを効果的に用いて実施している。 ③□□沼の自然環境と地域の人々の生活との関わりや理解の高まりは、□□沼と地域の人々の生活との関係を探究的に学んできた成果であると実感している。	①□□沼の実地調査を通して関心のある課題を設定するとともに、解決の方法を考えている。 ②□□沼の環境保全に必要な情報を、調査する対象に応じた方法や手段を選択して、収集している。 ③□□沼の環境保全に向けて、持続可能な視点から情報を整理・分析している。 ④□□沼の環境保全に向けた自分の考えを、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。	①□□沼の環境保全に向けて、他者の考えを認めたり、自分のよさに気付いたりしながら、活動に進んで取り組もうとしている。 ②□□沼の環境保全に関心を持ち、探究的に活動を進める中で、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。 ③自分と□□沼と地域の人々とのつながりに気付き、自分たちにできることを見付け、□□沼の環境保全に向けて行動しようとしている。

3 指導及び評価の計画（全70時間：本時第5・6時） ※別紙参照

4 探究課題の価値

□□沼は、約二百年以上前から現在まで農業用水として利用され、住民の生活に大きく関わりがあると同時に、地域の人々に四季を通してやすらぎを与える場として親しまれている。過去には、都市化により生活排水の流入が多く水質が悪化していたが、浄化技術の向上や、地域住民による環境保全活動が行われてきたことで、□□沼の環境は改善されてきた。

児童は、第3学年で「△△地区の特徴を見付けよう」の学習を通して、△△地区の環境への関心が高まってきた。さらに、本単元を通して、「自然環境は、様々な要因で常に変化する可能性があり、一定でないこと（有限性）」や「身近な自然において、私たちはその影響や恩恵を受けて生きているとともに、私たちの生活の仕方が自然にも影響を与えていること（相互性）」などの概念的な知識を獲得することができる。また、生活科の身近に住んでいる生き物の学習や、社会科の浄水場の学習、理科のろ過の学習、算数科のデータの活用など、各教科等との関連を図り、横断的・総合的に学習を進めていく中で、環境問題を多様な角度や側面から俯瞰して捉え、探究していくことができる。そして、地域や保護者の協力を得ながら、地域の一員として環境保全に向けて行動しようとする自己の生き方を考えることができる。

なお、次年度には、□□沼の水を使って米作りを行う計画となっており、継続的・系統的に関わることができる探究課題である。

II 本時の学習（5・6／70）

- 1 ねらい 土地改良区職員から□□沼の水質改善や環境整備の大変さなどの話を聞いたことを基に、□□沼の環境を守る方法を考えることを通して、単元の課題を設定できるようにする。
- 2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童の意識〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> □□沼の環境を守るために、単元を通して、自分たちに何ができるか考え、単元の課題を設定しよう。</p> </div> <p>S：景色がきれいな□□沼も底にはごみがたくさんある。何とかしたいけど、どうしたらいいだろう。</p>	<p>○清掃ボランティアの活動や、□□沼の底の様子など、前時に学習したこととのつながりを意識できるように、学習用端末で前時に記述した振り返りを確認するよう促す。</p> <p>○□□沼の水質改善や環境整備について問題を見いだして課題を設定するという目的意識を持てるように、□□沼に対する人々の思いや願いを問いかける。</p>
<p>2 土地改良区職員とのオンラインミーティングを行い、問題を見いだす。（40分）</p> <p>S：大きな川が流れていないこの地域にとって、□□沼はとても大切なのだな。環境整備に関わる人たちは、大切な沼を守ろうとしているのだな。</p> <p>S：どうして毎年清掃してもごみがなくなるのだろうか。もっと清掃の回数を増やせないのかな。</p> <p>S：そもそも、ごみを捨てることを防げないかな。</p>	<p>○□□沼の水質改善や環境整備について問題を見いだせるように、メモをとる際の視点として「一人で解決できそうなこと」「自分たちだけで解決できそうなこと」「自分たちだけでは解決が難しいこと」を掲示しておく。</p> <p>○伺った話を基に、□□沼の環境を守る方法を考えられるように、沼の水質改善や環境整備に関わる人たちが取り組んできたことを問いかける。</p>
<p>3 グループで各自の考えを共有・分類する。（30分）</p> <p>S：みんなのメモは、□□沼にとってどれも大切だけど、全部に取り組むことは難しいな。私たちはどんなことに取り組んでいくとよいのかな。</p> <p>S：「清掃ボランティアに参加する」「ボランティアを増やす」は、どちらも今、取り組むことだな。</p> <p>S：ごみ捨て禁止の看板を作って設置することは、未来につながる取組だな。</p> <p>S：今できることも、未来につながることも、他にできることがまだまだありそうだな。</p>	<p>○見いだした問題を共有できるように、各自が考えた□□沼の環境を守るための取組をジャムボードに入力するよう促す。</p> <p>○見いだした問題の解決方法を話し合えるように、□□沼の環境を守るための取組についての共通点に着目し、ジャムボード上の付箋を関連付けるよう助言する。</p> <p>○解決方法の効果や取組の実現可能性を検討できるように、話し合った解決方法を分類するマトリックス表を用意する。</p>
<p>4 グループの考えを全体で共有し、単元の課題を設定する。（10分）</p> <p>S：□□沼の環境を守っていくために、一人一人ができることに取り組むことはもちろん大切だけど、限界もありそうだ。地域全体で取り組まないと、本当にごみを無くすことは難しそうだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><単元の課題> いつまでもきれいな□□沼にするために、地域全体でアクションを起こそう。</p> </div>	<p>○全ての班の話合い結果を基に、課題を検討できるように、自分たちと他の班が考えた□□沼の環境を守る方法を比較するように促す。</p> <p>○ゴールイメージを明確にした課題を決定できるように、一覧表示された各班の□□沼の環境を守る方法の共通点を問いかける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆評価項目（思） 話合いの様子やジャムボードの記述内容から、「□□沼の環境を守るための方法を考えて課題を設定しているか」を評価する。</p> </div>
<p>5 本時の学習の振り返りをする。（5分）</p> <p>S：土地改良区職員の方のお話を聞いて、自分では知らなかったことをたくさん知ることができたよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><振り返り> S：今あるごみは、自分たちでとるしかないけれど、これ以上汚さないためには、きたない水を流しすぎないことや、ごみのポイ捨てをしないことなどを多くの人に伝えないといけないと思いました。そのためには、まず、水をきれいにする方法や水を汚さないで生活する方法について調べたいです。</p> </div>	<p>○次時の活動の見通しを持てるように、「本時の活動での気づき」「次時に取り組みたいこと」を視点に、振り返りを記述するよう促す。</p>

<別紙>

3 指導及び評価の計画 (全 70 時間 : 本時第 5・6 時)

	時	学習活動	知	思	態
つかむ	1~3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">探究課題と出合い、単元の課題を把握する。 12 時間</div> 【探究課題と出合う】 <ul style="list-style-type: none"> □□沼周辺を散策する。 自分の考えや家族にインタビューした内容を伝え合い、□□沼に対する思いや願いについてのイメージマップを作成する。(i) 			①
	4~8	【単元の課題を把握する】 <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に実施した、児童、保護者、土地改良区職員等による清掃ボランティアの様子や、水を抜いた沼には多くのごみがあったことを動画で確認する。 土地改良区職員の話に基づき、沼の水質改善や環境整備の大変さなど、自分たちの沼に対するイメージとのずれを見付ける。(ii) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 単元の課題 いつまでもきれいな□□沼にするために、地域全体でアクションを起こそう。 </div>	①	①	
	9~12	【追究の見通しを持つ】 <ul style="list-style-type: none"> 県が実施している「動く環境教室 エコムーブ号」を体験する。(iii) 2 回目の沼の散策を行い、環境保全の視点から□□沼を見つめ直す。 地域の人たちに向けたアンケートを作成し、実施する。(i) アンケート結果から、地域の人たちに伝えたいことを考える。 単元の課題に基づき、単元名(クラスのスローガン)を決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 単元名 みんなでアクション! □□沼クリーンプロジェクト (案) </div> <ul style="list-style-type: none"> クリーンプロジェクトの今後の大まかな学習計画を立てる。 	①	②	
追究する①	13~17	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">単元の課題に基づき、各グループで課題を設定し、追究する。26 時間</div> 【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> 見学や調査から□□沼の環境を保全するための取組を考える。 			①
	18~24	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> 話し合いを基に、□□沼の環境を保全するための取組について調べる。(a) 	②	②	
	25~29	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを「実現できる」「みんなのできる」の視点で検討する。 			③ ②
	30~38	【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 学習成果を地域の方や専門家に伝える。(i) 地域の方の感想や専門家の評価を基に、学習成果を見直す。 			④ ③
追究する②	39~43	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">新たな課題を見だし、継続して追究する。 30 時間</div> 【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> 活動を振り返り、発信する相手や手段について考える。 			① ①
	44~50	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> 発信手段ごとにグループをつくり、発信したい内容や効果的な発信方法について調べる。 	②	②	①
	51~56	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを「未来につながる」「みんなに伝わる」の視点で検討する。 			③ ②
	57~68	【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 未来につなげる地域づくりのための提言をする。(b) (i) (ii) 			④ ③
まとめ	69~70	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">単元全体の学習の振り返りをする。 2 時間</div> <ul style="list-style-type: none"> 「つかむ」過程で実施したアンケートを再度実施し、地域の人たちの意識の変容から、自分たちの取組を評価する。 単元の振り返りをし、考え方が変わったことや成果をまとめる。 次年度の新 4 年生に向けて、成果と課題をまとめる。 	③		

* 活用するコンテンツ等 : (a) 地域の環境を守ろう <http://www.nc.gunma~~~~>
 (b) OOをつくらう <http://www.nc.gunma~~~~>

* 関わる外部人材等 : (i) 保護者や地域の方 (ii) 土地改良区職員 (iii) エコムーブ号